

会議等結果報告書			
会議区分	会議・打合せ・協議	文書番号	上富福祉第 号
		決裁期日	平成30年9月26日
名称	第2回上富良野町地域福祉計画策定委員会		
日時	平成30年9月25日(火) 18時00分～21時00分		
場所	保健福祉総合センターかみん 2階研修室		
出席者	(委員) 12名(別紙)、欠席委員3名 (役場) 鈴木課長、武山主幹、末永主査、飯村主査、島田主事、大井主事		
内容	1 会長あいさつ 2 議題 「第2次地域福祉計画達成状況調査結果報告書による検証評価について」 ① 「Ⅰ 調査の概要、Ⅱ 評価の取りまとめについて」 ② 「Ⅲ 実践事業ごとの達成状況・達成度・課題等について」 資料に基づき、事務局より説明 3 グループ討議 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【第一グループ】 (構成委員) 川鍋委員、宮崎委員、檜野委員、村上委員、巽委員、高橋委員 (事務局) 進行～鈴木課長、グループ発表～末永主査、記録～島田主事 </div>		
	【意見等】 ・各住民会における活動は、地域格差があるように感じる。一生懸命取り組みを行っている住民会は様々な事業を実践されている。それに至らない住民会との差は高齢者以外の年齢層をいかに活動に引き込むかに尽きると思う。うまく実現している住民会には世代間に刺激が生まれ、事業が活性化しているのではないかと。 ・町内会活動については声が掛からず、ふれあいサロン事業は存在すら伝わってきていなかった。転勤があるので、居住者が固定されないこともあり難しい部分もあるが、住民会内で活動の全体化が進んでいないと思う。 ・お金に代えがたい価値を得たいと思う方がこれまでのボランティア活動に関わって来られたと思うが、現在はそれでは人が集まらない。僅かでも金銭の授受があることで、受ける側、お願いする側双方で責任感やボランティアスキルの向上意識が生まれると思う。実際に子育て世帯に対する託児は、多くが有償ボランティアに移行している。 ・福祉分野は人材不足にあり、担うべきボランティアもいないのが現状。ちょっとしたサポートなら出来るとか、お小遣いが欲しいなどのマッチングの重要性が増している。 ・若い人は住民会活動に関心が無い。地域の人とのつながりを大事に出来ていな		

会議等結果報告書

く、危機感も感じられない。なぜ若者は住民会活動が出来ないのか、声を聞いてみたいとすら思う。

- ・「福祉」という表現は、どこかしら漠然とした印象も受け、高齢者の分野なのかというイメージもある。高齢者分野に限らない、地域全体のものとしたイメージの転換が必要。

【第二グループ】

(構成委員) 山本勉委員、角波委員、二宮委員、谷口委員、芳賀委員、谷江委員
(事務局) 進行～武山主幹、グループ発表～飯村主査、記録～大井主事

【意見等】

- ・住民会ごとに配置されている福祉推進員や、町内会ごとに設置される福祉係は地域内のなり手不在により、町内会長等が兼務している事例なども聞き及んでおり、ふれあいサロンの開催案内が住民会全体に行き届かないなど、会全体の活動とはなり得ていない。また、町内会の役員が毎年変わるが、担う側の性格や忙しさ、引き継ぎ方法などの要因により活動量に温度差が生じてしまう。
- ・住民会単位で実施できないのであれば、地区を隔てることなく、皆でやることは出来ないのかと感じる。子ども会活動が活発だと聞いていた地区に住んでいるが、自分で動かなければ情報収集することが出来ない。育児をする母親だけを対象とするのではなく、父親との関係も大切。子どもと父親を対象にした、良い関係性を構築できるような取り組みがあってもいいのかなと思う。
- ・福祉分野は人材確保が課題。行政や関係機関等は先々の事を考えながら50代から高齢者世代をどのように関わらせるのかを考えながら、上手く事業を進めていかななくてはならない。
- ・ボランティアは今後、どうなっていくのか危機感を感じる。これまでのような無償一本で行ける時代ではない。有償ボランティアの基準等を整理する必要性を感じる。
- ・行政では手が回らない、無理なものをお願いするのがボランティアなのか。「自助・共助・公助」と言われているが、どのようなボランティアニーズがあるのか、ボランティアセンターをどのように機能強化するのか、福祉計画の中で方向性を決めていくべき。
- ・福祉分野の相談体制は今の人員で足りているのか。施設サービスについては、サービス利用者が他市町村に流れているので、町の中で受け入れが出来ていない状況も見受けられ、町の受け入れを今後どの程度まで持っていくのか。配食サービスなどは年々ニーズが増加する一方、人材不足によってサービスが十分に回っていない。
- ・在宅除雪サービスの実施については、公的な形で除雪を行っているところでもマンパワーが不足している。雪を出すところもなく、高齢者が対応できない事も多い。何か良いアイデアが欲しい。

内 容

会議等結果報告書

内 容

- ・どんな生活を送りたいかは、実際に困っていることが無いと深く考えることが無い。どんなサービスがあったらよりよい生活になるのか、意見を吸い上げる機会があっても良いし、学生などの直接的な関連がない人からも意見を聞くことで、新たな課題を認識できるのではないかと思う。それによって出来る事、出来ない事の整理を一步進めることが出来る。長時間ではなく、育児の合間など「ちょっとした時間」を活用してお手伝いできるようなことはないのか。具体案があれば、自らが考えたり、行動できることがきっとあると思う。
- ・第3次計画の実践事業項目は今後どういう町づくりを進めたいのか、どのような福祉の町づくりが必要か、今ある資源をどのように活用していくのか、そういった事が明確に盛り込まれた計画であって欲しい。

4 グループ発表

グループ討議で寄せられた意見を全体発表

5 その他

次回開催日程は 11 月中～下旬頃を予定 (会議終了時刻 21 : 00)

上富良野町地域福祉計画策定委員会委員名簿

区分	所属団体・機関等の名称	氏 名	出 欠
障害者団体	上富良野町身体障害者福祉協会 副会長	山 本 秀 男	欠席
	手をつなぐ親の会 会長	佐 藤 祥 一	欠席
	つばさ会 会員	宮 崎 守	
	NPO法人 なないろニカラ 代表理事	二 宮 利 和	
福 祉 団 体	上富良野町社会福祉協議会 事務局長	角 波 光 一	
	社会福祉法人わかば会 理事 (ケアハウスかみふらの施設長)	谷 口 靖	
	社会福祉法人富良野あさひ郷 特別養護老人ホーム北の峯ハイツ 生活支援課長	檜 野 真由美	
	ボランティアセンター運営委員会 委員長	川 鍋 まさ子	
その他団体	上富良野町女性団体連絡協議会 副会長	村 上 孝 子	
	上富良野町老人クラブ連合会 副会長	芳 賀 実	
	上富良野町民生児童委員協議会 副会長	山 本 勉	
	上富良野町商工会青年部 部長	加 藤 雅 也	欠席
	上富良野町住民会長連合会 会長	巽 俊 明	
町 民 公 募	公募委員	谷 江 彩也子	
	公募委員	高 橋 美 来	